

ひろまさ 大将さん

どがしこでん×インタビュー

本名中村大将。大相撲三段目呼出。

1997(平成9)年9月20日生まれ。

羽山台小、田隈中学校卒業後、2013(平成25)年4月に
公益財団法人日本相撲協会に採用。山響^{やまひびき}部屋所属。

4歳から夢見た呼出の世界

物心ついた頃からテレビで大相撲を見ることが大好きだったそう、4歳の誕生日に母が両国国技館へ連れて行ってくれました。そこで、きれいな着物を着て力士の名前を呼んだりする呼出の姿を見て、すぐに「これがやりたい!」と決めたのを今でもしっかり覚えています。保育園でも「よびだしになる」と言っていたらしく、場所中は学校から帰るとテレビに一直線。特に出島関(現在の鳴戸親方)が大好きで、正座して取り組みを見ていました。11月場所(九州場所)は毎年観戦に行き、呼出の部屋を訪ねて声をかけてもらえたりして、呼出になる、という夢をひたすらに抱きつづけてきました。

アニメを見るように 大相撲に夢中

呼出は定員45人と決まりがあり、定数に達していればなりたくてもなれませんが、自分の場合タイミングがよかったので、中学校卒業後の4月1日付けで採用が決まりました。母から言われたのは「帰ってくる家はないよ。そのくらいの覚悟で行きなさい」とだけ。でも周りは高校受験の真っ只中で、中には否定的なことを言う先生もいたのですが、当時の担任の先生と教務主任の先生は自分のことを守ってくれて、自分の夢をすごく応援してくれました。今でも九州場所のときは毎年お二人とも観戦に来てくれて本当に感謝しています。

触れ太鼓と巡業で大牟田へ

場所中は朝7時から会場に入り、18時までずっといます。三段目の取り組みが昼12時頃から始まって、自分の仕事以外にもやるのがたくさんあります。場所後に一週間の休暇がありますが、その他は地方巡業や各部屋の土俵づくりの手伝い、食事の準備など、ほぼ毎日相撲一色です。厳しい世界なので怒られることもあります。厳しいうえに、親方や力士などみなさんからすごく可愛がってもらっているのでも、とても楽しいです。つらいと思っただけじゃないです。

大牟田には祖父母のお墓があるので、限られた時間で帰省しますが、地元の方

達に会うとほっとします。友達のお母さんたちも本当の息子のように「頑張ってるね」って応援してくださるので励みになります。

今年11月9日に、道の駅おおむたや市内各地で、「触れ太鼓」を行います。九州場所初日の前の日に、太鼓を打ちながら場所の興行を知らせる江戸時代からの習わしで、大牟田で行うことを自分たちで初めて計画を立てました。そして12月6日には冬巡業で大牟田場所が開催されます。地元の方々の前に立てるのでとても楽しみにしています。

呼出になって10年。これからも大相撲を裏で支え、呼出の技術を向上させてしっかりと根を張っていきたいです。

(聞き手：杉山文香)

触れ太鼓

11月9日(土)

道の駅「おおむた」花ぶらす館
ほか大牟田市内各地

大相撲 大牟田場所

12月9日(土)

おおむたアリーナ

(問) 大相撲大牟田場所事務局
TEL 0944-53-6003